



木材を利用した様々な空間

木材は、材種により風合いや色目などが異なるため、使用する木材により異なる雰囲気空間を演出することができる。また、床、壁、天井の全てを木材仕上げとする場合や、木材をアクセントとして用いる場合など、木材の使い方によっても様々な印象の空間を創り出すことができる。本章では、木材を利用した様々な雰囲気を持つ空間の事例を写真とともに紹介する。

自然や町並みに溶け込む木の学校



川上村産のカラマツをふんだんに使用。主構造は村産のカラマツの集成材。カラマツの原生林「美林」をイメージした形態の柱を形成している。(左)管理棟外観、(中央)グラウンド側からの外観、(右)中庭の様子

長野県川上村立川上中学校



校舎全体は、川側に寄せられており、川に向かって開放的な空間となっている。
(上)グラウンド側校舎外観
(左)川側の校舎外観

愛媛県八幡浜市立日土小学校



旧今庄町は、北陸への玄関口にある宿場町として栄え、昔ながらの町並みが今なお残っている。校舎の外観や仕上げにその要素を取り入れ、今庄の気候風土にあった町並みに溶け込むデザインを採用。
 (上) グラウンド側外観、(左) 正面外観

福井県南越前町立今庄小学校



愛媛県内で現在最古の木造校舎。改修時に外壁は、セピア色の古い卒業アルバムの写真と周辺に住んでいる高齢者への聞き取り調査などをもとに、竣工当時のものを再現したかたちで、県内産のスギ板下見板張りに木材保護塗料仕上げとされた。(左) 東側外観、(右) 木製のサッシ

愛媛県伊予市立翠小学校



城下町の中心に位置する木造校舎であり、学校を含んだ周辺地域が三重県都市景観大賞を受賞している。
 (左) 正面外観、(中) 普通教室棟中庭、(右) 校舎外観

三重県伊賀市立上野西小学校

木の教室空間



スギ丸太の登り梁を採用し、そのまま見せる仕上げとなっている。子どもたちも、どのような構造でできているのかが一目瞭然に確認できる。

栃木県茂木町立茂木中学校



普通教室は、外周を全面開口としたオープン形式。普通教室の奥には、2教室で共用の多目的コーナーが設けられている。

【施設利用者の声】

- ・白木が利用されているため雨の日でも明るい。
- ・光が差し込み明るく心地よい。

愛媛県八幡浜市立日土小学校



集成材や内装材に、ふんだんに今庄産のスギを使用。
 (左) 普通教室の様子
 (右) 子どもたちのデザインによるサイン

福井県南越前町立今庄小学校



普通教室の天井には、吸音スギ樹皮ボードを使用。

秋田県能代市立浅内小学校



【施設利用者の声】

- ・木部が無塗装であるため、湿度が高い時も結露しにくく、廊下がすべらないので安全。また、シックハウスなどの心配が少ない。
- ・木のぬくもり、柔らかさを感じられ落ち着く。
- ・木材の断熱効果で、コンクリート剥き出しの学校に比べると、底冷えしにくい。
- ・木の香りがしてよい。

佐賀県佐賀市立小中一貫校北山校



普通教室は、両面採光が確保されている。天井は、格子天井が採用されている。

東京都稲城市立若葉台小学校

木の音楽室



長野県川上村立川上中学校



三重県熊野市立有馬中学校

【施設利用者の声】

- ・音楽室は音響効果も考えられていて、素晴らしい雰囲気と音の中で学習できる。
- ・柔らかみのある温かい感じと木の香りがよい。
- ・机、椅子までカラマツで出来ており視覚的にもやさしく感じる。

木のランチルーム



長野県川上村立川上中学校

【改修の事例】

内装を木質化することで、あたたかみのあるランチルームにリニューアル。



福島県北塩原村立さくら小学校（RC造）

木の図書室



図書室とベランダ。ベランダの先端は、校舎沿いの川の上に突き出しており、ベランダを支える木の柱は敷地内から斜めに伸びている。

【施設利用者の声】

- ・図書室は、明るくてとても気持ちがよく、川を眺めてリラックスできる。
- ・ベランダは風が通って心地よい。

愛媛県八幡浜市立日土小学校



埼玉県ときがわ町立萩ヶ丘小学校



子どもたちのくつろぎの場として、床、壁、天井の全面を木質化。

埼玉県ときがわ町立都幾川中学校 (RC 造)



東京都杉並区立高井戸小学校 (RC 造)



内装が木質化された図書室。家具も木製のものが使用されている。